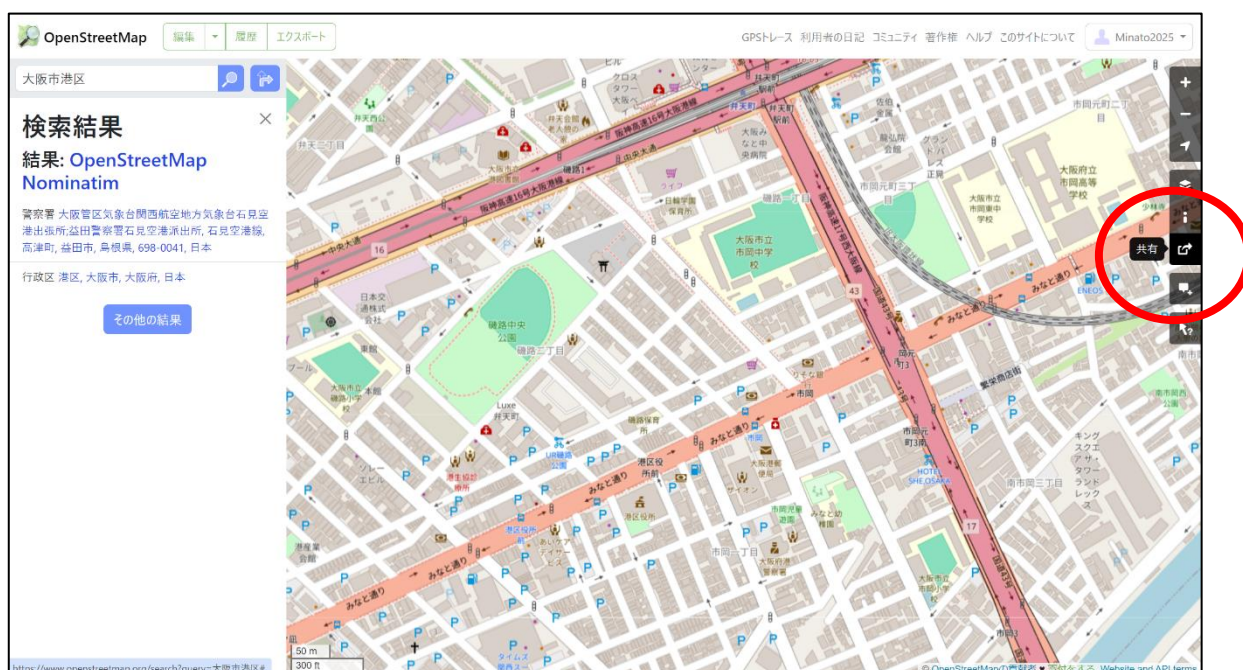


「おもてなし防災」地図入りフライヤーの作り方

津波の浸水エリアで、建物の外に避難しなければならない場所で外国人に配るための「おもてなし防災フライヤー」です。英語・中国語（簡体字）・韓国語に対応しています。デザイン AC のテンプレートから、自分の地域用に編集する手順を紹介します。

- (1) 「OpenStreetMap」を開き、自分の地域の地図を開き、縮尺を調整します。欲しい縮尺の地図になったら、右の「共有」をクリックします。

<https://www.openstreetmap.org/>

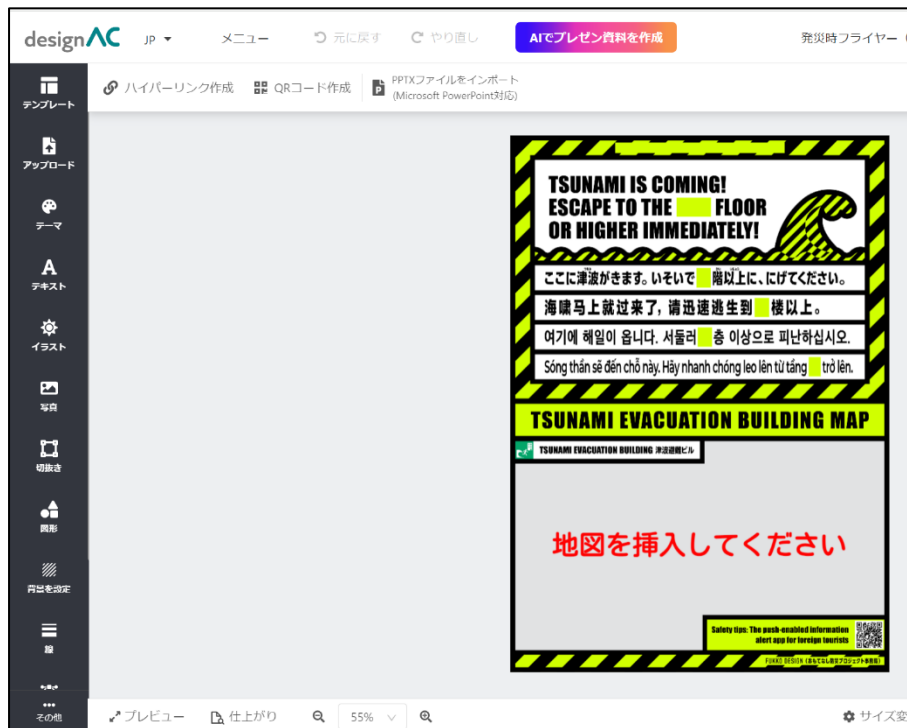


- (2) 「PNG」か「JPEG」で保存します。



(3) 「おもてなし防災」特集ページの「発災時フライヤー」のテンプレートを開きます。ログインすれば、編集画面になります。

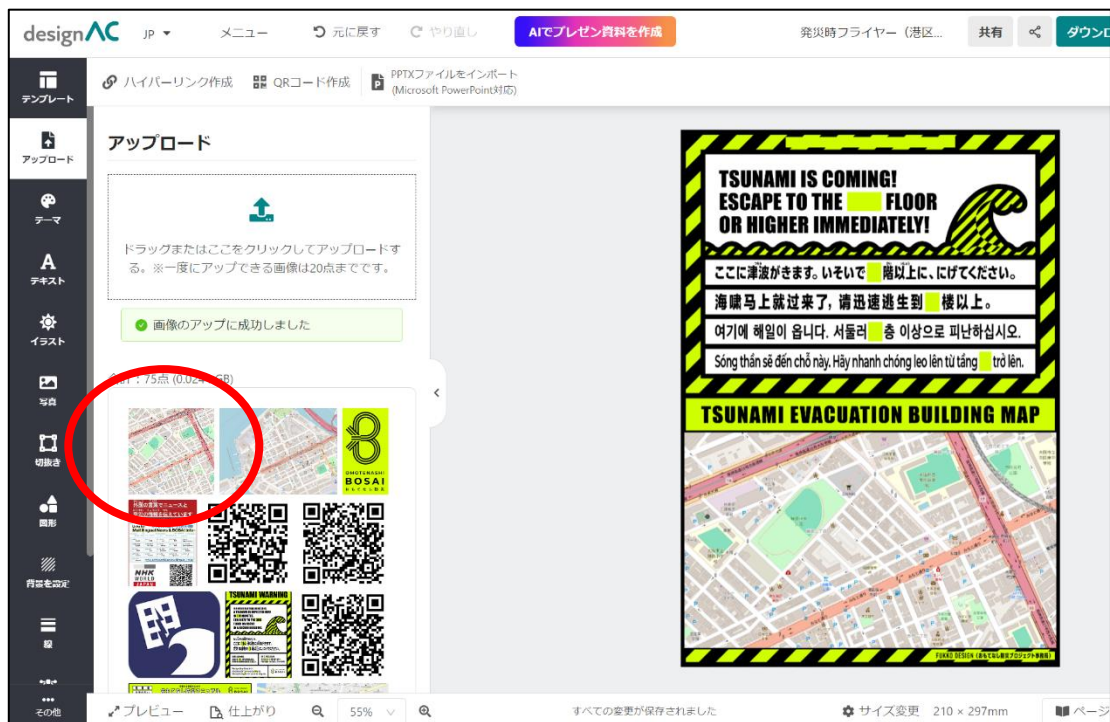
<https://www.design-ac.net/designs/3r2aw8m04ygade>



(4) 左にある「アップロード」から、「OpenStreetMap」からダウンロードした地図画像をアップロードします。



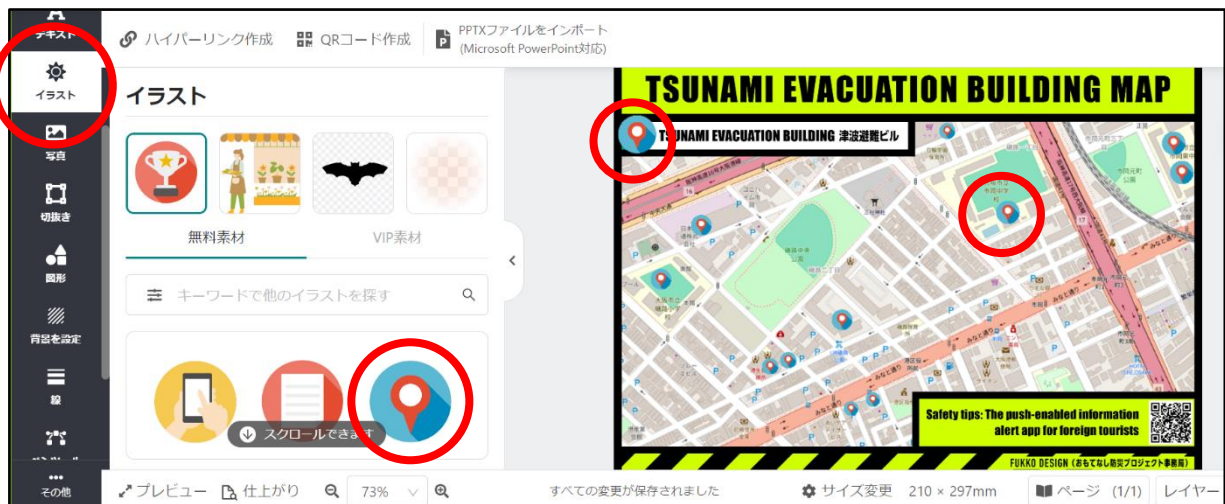
(5) 地図画像をクリックして挿入し、枠に大きさを合わせます。画面上でトリミングをすることも可能です。



(6) 地図の上で右クリックをすると、メニューが出てきます。「背面」をクリックすると、右のように津波避難ビルと「Safety Tips」の表示が上に来ます。



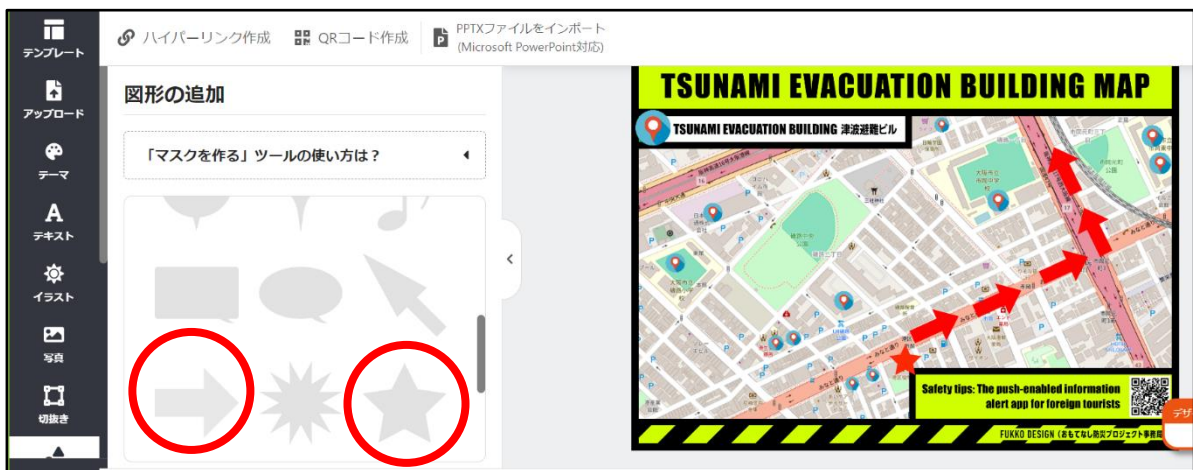
(7) 「津波避難ビル」のマークの画像データを持っていて、そのまま使う場合はアップロードして、津波避難ビルのある場所に貼っていきます。持っていない場合は「イラスト」>「無料素材」の上の方にある水色に赤いピンのマークを使うなど、別のマークで代用してください。



【注意事項】

- ・津波避難ビルは、地域の自治体が発行している「防災マップ」を確認して、地図の上にプロットしてください。
- ・津波避難ビルは変動します。定期的に最新の情報を確認しましょう。
- ・店舗で配布する場合は、営業時間に空いている津波避難ビルのみを表示しましょう。

(8) 自分の店舗や避難想定ルートを記号や図形で書きこみ、地図を仕上げましょう。



※地図を入れた後は、枠囲みを右クリックして「ロック」しておくと、作業がしやすくなります。

操作の基本的なマニュアルはこちら ↓

<https://www.design-ac.net/articles/category/basic/>

(9) 地図のエリアで逃げるべき階数や一番上の空白に「〇〇駅周辺版」などのタイトルを「テキスト」>「見出しを追加」で記入しましょう。



(10) 「ダウンロード」>「PDF」>「印刷用」を選択し、ダウンロードすると印刷用のチラシ PDF が完成します。



外国人観光客の多い観光・商業施設や商店街、ホテル、民泊、飲食店などの施設で、津波を伴う地震が起きた場合に備えて、作成・印刷しておきましょう。